



最高の日本生活



国 籍	ベトナム
職 種	機械検査
実習実施者	株式会社屋根技術 研究所
監 理 団 体	協同組合 ロジテック愛知

レ ティ マイ
LE THI MAI

誰かに、日本に来て後悔したことがありますか？と聞かれたら「もっと早く日本に来ておけばよかったと後悔しています。」と答えます。私は日本語能力試験の二級を取得することと、測定の技術を学ぶ為に、実習生として二〇一七年に日本に来ました。会社で実習生は私一人だけで、外国人がいなかったので、もしかしたら仕事で指示を受けても分からなかったらどうしよう？と不安でした。それから日本語が得意ではないこと、文化が違うこと、家族や友達と離れてしまうこと、日々生活で心細いことなども心配でした。実際、会社に入った最初は、職場で周りの人が話している内容があまり良く分かりませんでした。でも、会社の先輩はいつも優しく、仕事をゆっくり説明してくれました。会社に来て二年ぐら이가過ぎましたが、一度も先輩が怒った所を見たことはありません。上司は仕事が忙しく、時間があまりないにも関わらず、私の話し方や報告書など、日本語の間違いを直してくれました。そのおかげで日本語が少しずつ上手になり、報告書の修正が減り、仕事もどんどん慣れることができました。上司と先輩に感謝の気持ちがあるからこそ、日本語が難

しく、仕事が大変でも、一生懸命勉強することができます。途中で諦めず、最後まで頑張りたいと思います。

仕事に加えて生活の事も教えてもらいました。休日に、会社の人達と遊びに行ったり、美味しい食べ物を食べたり、素敵な景色を観光したり、着物を着たり、色々な日本の文化を体験できました。経験するほど日本の文化が好きになりました。それだけではなく、飛行機を造る工場を見学したり、マラソン大会に参加したりして、今までに想像していなかったチャレンジができました。

特別に忘れられない思い出は、会社の人のお宅と一緒に餃子を作った時のことです。お父さんが餃子の皮を作り、私と子供は餃子を包み、お母さんは餃子を熱湯をかけて蒸し、おばあさんは餃子のタレをまぜながら、昔の面白い話を語ってくれました。誰もが笑顔でした。私はその光景を見て、外はとても寒かったのですが、その雰囲気ですぐに心が温まりました。楽しいことにせよ、寂しいことにせよ、会社の人達はいつも私のそばに居てくれて、いつの間にか周りの人達がみんな私の家族のような存在になりました。心の底から感謝しています。尚、私は組合で一ヶ月に一回日本語の勉強会に参加し友達と一緒に日本語を教えてもらっています。組合の人からもいつもお世話になっており、有り難いです。

それでも私の生活はいつも順調ではなく、道に迷ったことも、家族を思い出したこともありました。ですから、もしあなたが同じように困っても、周りの人に相談してください。きっと手伝ってもらえ、問題を解決できると思います。